

二〇二五年度 早稲田大学大学院文学研究科 入学試験問題
【博士後期課程】 専門科目 日本史学 コース ※解答は別紙(縦・横書)

「一」(古代)・「二」(中世)・「三」(近世)・「四」(近・現代)のうち、自分の専攻する時代の問題を選んで解答せよ。但し、複数の時代を選ぶことはできない。

問「一」(古代) 次のA・B二問に答えよ。

A 次の史料を読んで問いに答えよ。

※この部分は、著作権の関係により掲載できません。

(1) 全文を読み下せ。

(2) 全文を現代語に訳せ。

(3) 傍線aについて知るところを述べよ。

二〇二五年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【博士後期課程】

専門科目

日本史学 コース

※解答は別紙（縦・横書）

B 次の史料を読んで問いに答えよ。

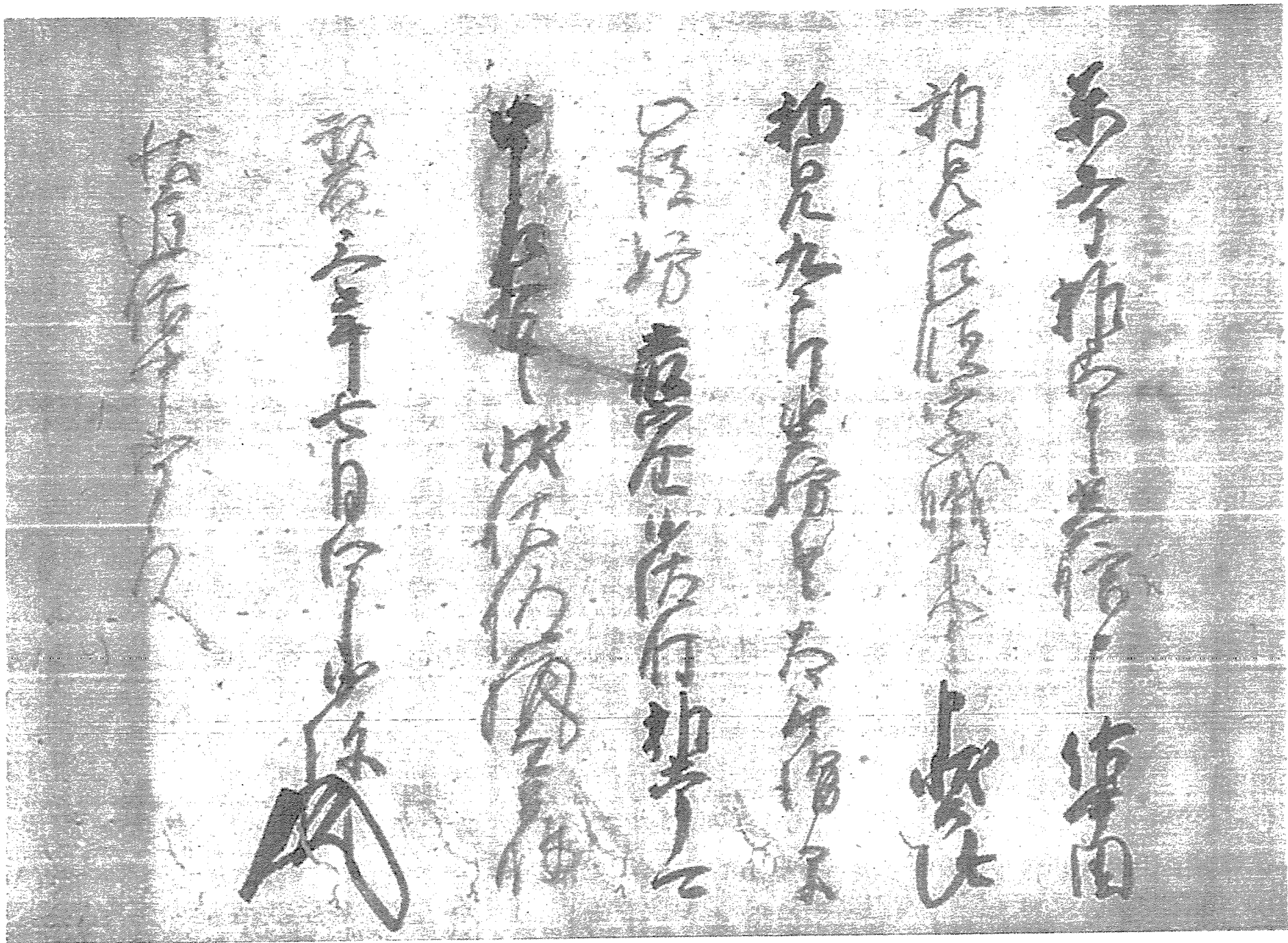
- (一) 常用漢字を用いて、全文を読み下せ。
- (二) 全文を現代語に訳せ。
- (三) 本史料に記されていることについて、知るところを述べよ。

※この部分は、著作権の関係により掲載ができません。

B (1) 左の史料の釈文を記せ。

(2) 左の史料の読み下し文を記せ。

(3) 左の史料の、文書としての様式や機能について説明せよ。



※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

京都府立京都学・歴彩館東寺百合文書WEB 木函/29/3/ 室町幕府引付頭人奉書

A 左の史料は、享保元（一七一六）年の「葉隠」冒頭部分の写本である。これを読んで設問に答えよ。

(2) 史料中にみえる「日峯様」(佐賀藩祖鍋島直茂)・「泰盛院様」(初代藩主鍋島勝茂)の治世は

即ち家藏を初年迄事い多う家藏に不存あるは他藏と

面白ういふ道程を
はやく是に家職
勉め能ふ中は
目撃後

奉還此帛に王所成し此帛ハ皆王職之類といふなり

は、操便下の、（中略）五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

日暮堪悲
下
燈
抱
き
し
に
血
み
ど
ろ
小
水
瓶
切
落
て
支
差
煙
と

取之先施運之步氣速病為愈
未堅近標之切也

場を以ては、初め國を以て爲る所なり。故に、先づ國を以て爲る所なり。

乃此道中の要害ヲ留す。此は地味也。其より更に在る佛地ニ

沙征公水
日孝孫少長主人也家之乃取之六市商命之卒

ふあきほもをゆ年ふがふ長久の衆ふまはむあけ事し養事

いふハ少くも羅し世に放ちて是れ道ハ是れ道ナリと云ふ

紫小失聲多く上下固弱、因卵と云ふ如く此の如き海老の

可也。家中老兄老人の死を哀れ、時成し月日と暮らす。

去て来り来ぬく 残し後をわし 忍び難き事と ぞんじり 如是

是月下之葬也一生有教育子弟亦足見其位之尊

二〇二五年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【博士後期課程】

専門科目

日本史学 コース

※解答は別紙(縦・横書)

B 左の史料は、慶応三年（一八六七）五月十二日に出された江戸の町触である。これを読んで設問に答えよ。

（1）全文を翻刻し、現代語訳せよ。

（2）この触が出されたあとから慶応四年（一八六八）にかけて、江戸の町はどのような状況になったか、説明しなさい。

※この部分は、著作権の関係により掲載ができません。

二〇二五年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【博士後期課程】

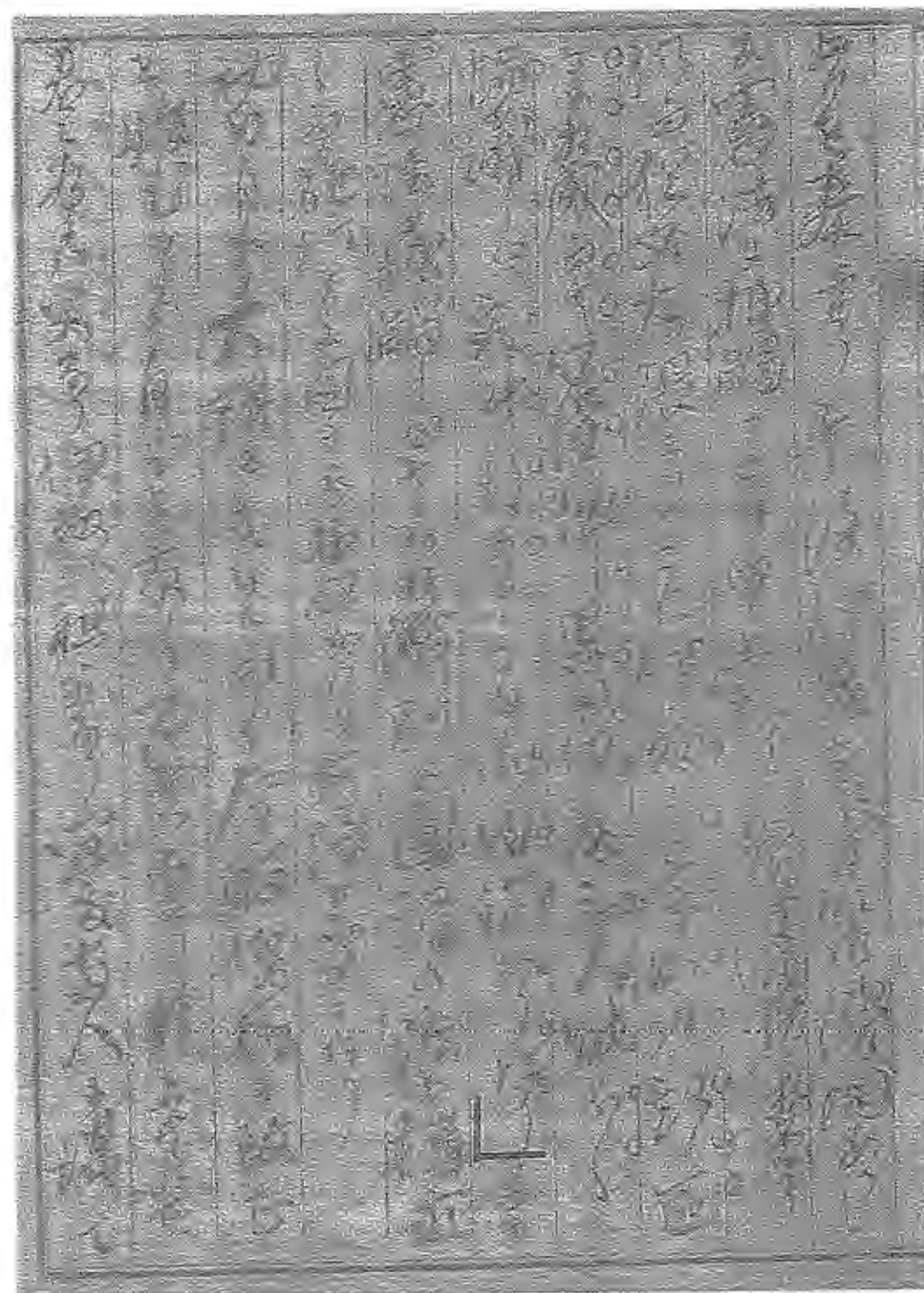
専門科目

日本史学 コース

※解答は別紙（縦・横書）

問「四」（近・現代） 以下のA・B二問に答えよ。

A 次の史料を読んで問いに答えよ。

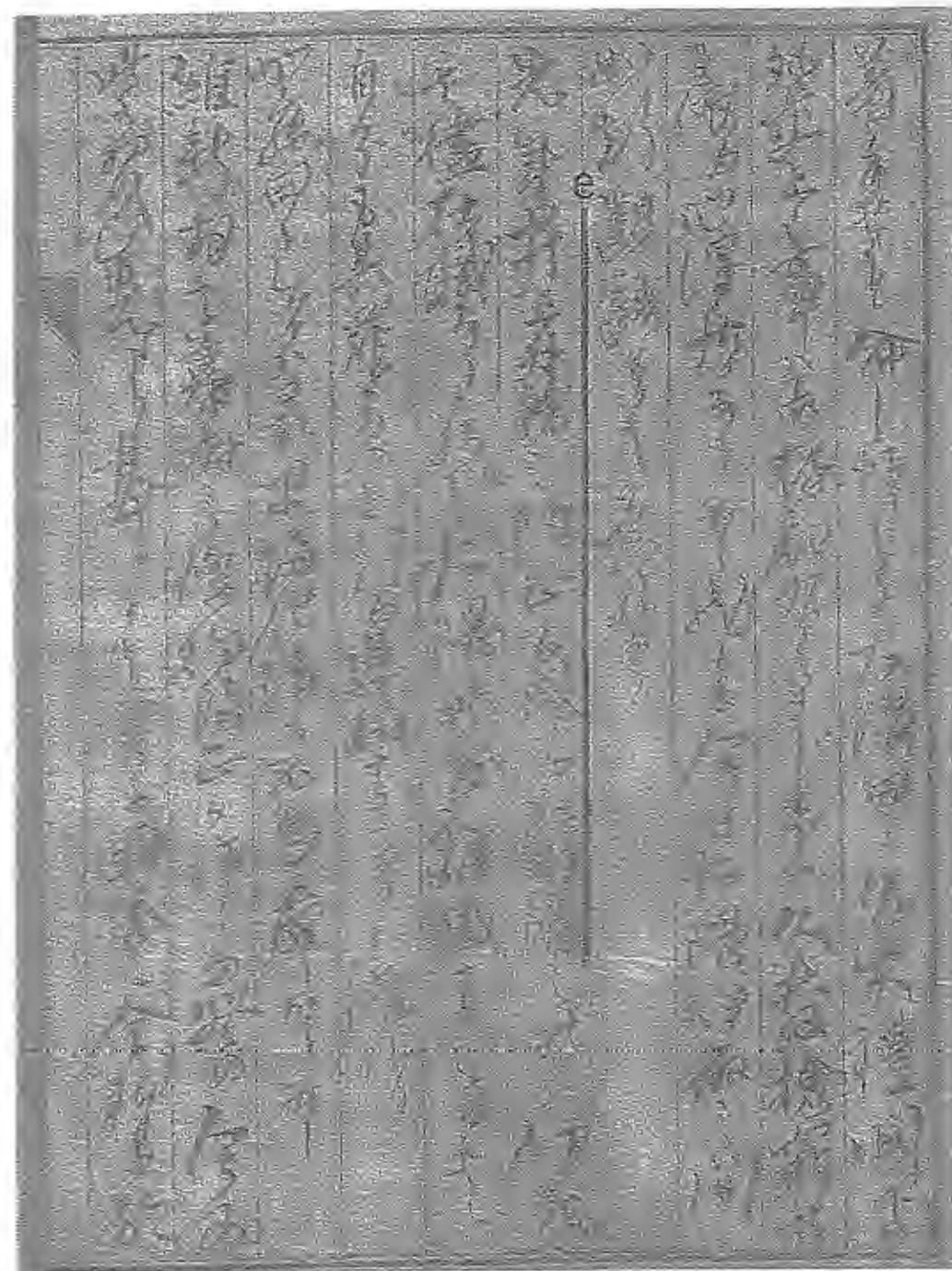


※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

『養浩堂私抄 人』国立国会図書館デジタルコレクション

<https://dl.ndl.go.jp/pid/11536074/1/22>

<https://dl.ndl.go.jp/pid/11536074/1/23>



※WEB掲載に際し、以下のとおり出典を追記しております。

『養浩堂私抄 人』国立国会図書館デジタルコレクション

<https://dl.ndl.go.jp/pid/11536074/1/22>

<https://dl.ndl.go.jp/pid/11536074/1/23>

- (1) 傍線aの人物について知るところを一〇〇字程度で述べよ。
- (2) 傍線bは何が憲法に抵触するという議論が起きたのか、五〇字程度で解説せよ。
- (3) 傍線cの人物について知るところを一〇〇字程度で述べよ。
- (4) カギカッコdの部分全文翻刻せよ。
- (5) 傍線eの経緯について五〇字程度で解説せよ。
- (6) この史料にかかれてある時期の社会状況や世相について一〇〇字程度で解説せよ。

B 次の史料を読み、設問に答えよ。

※この部分は、著作権の関係により掲載ができません。

二〇二五年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【博士後期課程】

専門科目

日本史学 コース

※解答は別紙(縦・横書)

- (1) この史料がいつ書かれたものか、西暦で答えなさい。
- (2) 括弧Aの箇所を楷書で記しなさい。
- (3) 傍線aの人物について知るところを二〇〇字程度で記しなさい。
- (4) 括弧Bの箇所を楷書で記しなさい。
- (5) 傍線bの人物について知るところを二〇〇字程度で記しなさい。
- (6) この史料の冒頭部分で言及されている事件と、当時の政界動向について三〇〇字程度で説明しなさい。

受験番号	
氏名	カナ
	漢字

この欄以外に受験番号、氏名を記入しないこと。
漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

———ここから記入すること———

日本史学

※選択分野に○を
記入すること

- ・古代
- ・中世
- ・近世
- ・近現代

総 点

(裏へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——

——ここから記入すること——

(裏へ続く)

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——